

1 テーマ…潜水橋と利用する人々の暮らし

- 目指すところは、潜水橋と地域生活の関わりについて
- 住民生活に密着したドキュメント研究

2 序文

島根県仁多郡奥出雲町の船通山を源流とする斐伊川は、島根県奥出雲町～雲南市～出雲市を流下し、宍道湖へ合流する(斐伊川放水路を除き)。宍道湖から下流域は、(佐陀川を除き)大橋川～中海～境水道を経て日本海へと注ぐ、総延長153kmの一級河川である。

河川整備計画では、宍道湖合流点より上流の区間を斐伊川本川と称している。山間地から出雲平野に差し掛かると、当然河床勾配は緩くなり、護岸構造も掘込み→築堤へと変化、同時に潜水橋も現れ始める。

3 現地踏査(下流域)

- ・現地踏査(下流域)は、出雲市内の潜水橋を調査する。多くの会員が参加し易いよう、2回開催する。
- ・神立橋より下流では、県道出雲路自転車道線が左岸堤を占用している。目(堤内地より約10m高く、眺め良し)、耳(草むらでキジの声)、肌(滲む汗と心地よい風)、五官で斐伊川を感じてもらうため、条件が整えばサイクリング移動も検討(神立橋～河口の間)。

3-1 河口から1番目の潜水橋『島村橋』

斐伊川が宍道湖へ流れ出る河口から1.6km上流に、県道橋の「灘橋」。灘橋から上流へ1.0kmに架かっているのが、潜水橋『島村橋』。農道橋として管理され、島村橋の左右岸とも住所は旧平田市です。

3-2 2番目の潜水橋『井上橋』

島村橋から上流へ1.4kmに「瑞穂大橋(旧称、源光寺橋)」。さらに上流へ2.2kmで「西代橋」へと続きます。西代橋から上流4.4kmに2番目の潜水橋『井上橋』、呼び名は(いあげばし)OR(やげはし)、旧斐川町～旧出雲市間に架かっている。

3-3 3番目の潜水橋『山田橋』

井上橋から0.6km上流に「北神立橋」、続いて1.2km上流に「からさで大橋」、さらに上流へ0.4kmで「神立橋」と続きます。これより上流へ0.3kmで「JR鉄橋」、続く上流へ1.0kmで「南神立橋」、さらに上流へ4.0kmで仏教山トンネルに続く「山陰自動車道橋」、この直上流0.6kmに潜水橋『山田橋』が構えます。

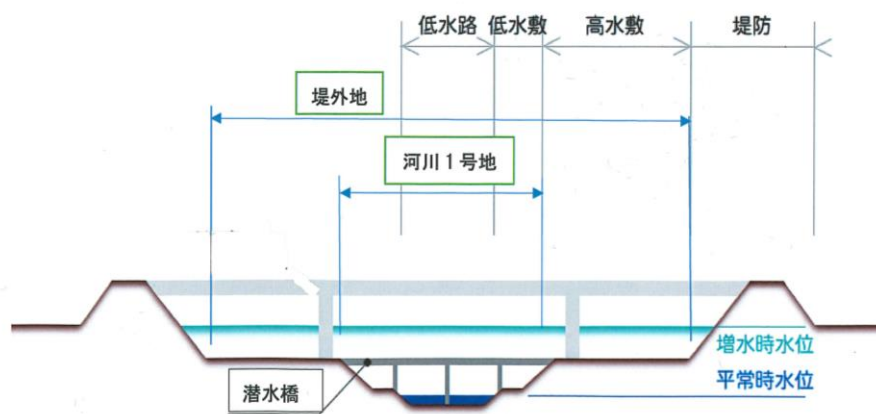
4 今後のスケジュール(案)

- ・雲南市～奥出雲町間は、現地踏査(上流域)として3回目に開催(三刀屋川との分岐箇所にも潜水橋あり)。
- ・現地踏査以降は、文献や利活用等の状況調査に入る。

5 出雲市内に架かる橋梁

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 灘橋 - 県道 23 号 | 2. 島村橋 - 農道橋 | 3. 瑞穂大橋 - 県道 184 号 | 4. 西代橋 - 県道 275 号 |
| 5. 井上橋 - 市道橋 | 6. 北神立橋 - 県道 161 号 | 7. からさで大橋 - 国道 9 号 | 8. 神立橋 - 国道 184 号 |
| 9. JR山陰線鉄橋 | 10. 南神立橋 - 市道橋 | 11. 山陰自動車道橋 | 12. 山田橋 - 市道橋 |
| 13. 森坂大橋 - 県道 15 号 | | | |

現地踏査箇所の概要



1. 島村橋



2. 井上橋



3 山田橋

